<table>
<thead>
<tr>
<th>Title</th>
<th>問屋と仲買：江戸材木商（社会経済史資料紹介）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Sub Title</td>
<td>野村, 兼太郎</td>
</tr>
<tr>
<td>Publisher</td>
<td>慶應義塾経済学会</td>
</tr>
<tr>
<td>Publication year</td>
<td>1946</td>
</tr>
<tr>
<td>Jtitle</td>
<td>三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.39, No.3 (1946. 9), p.216(42)-231(57)</td>
</tr>
<tr>
<td>JaLC DOI</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>Genre</td>
<td>Journal Article</td>
</tr>
</tbody>
</table>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.
問屋と仲買

問屋と仲買の関係は恐らく商品に依っていろ、業界の一つと云ふべき。しかしここでは、前記材料を通して江戸時代の間屋と仲買の関係についてのみ述べてみたいと思ふ。

間屋と仲買の間には一定の商品の供給関係が成立するが、それ以外の業界を通じて商品が消費者の手に渡ることは、間屋の居と仲買の居に限つて行われてはならない。間屋と仲買の間で、仲買の業界に通じて商品が消費者の手に渡ることは、間屋の利潤を損なうものである。間屋の利潤を損ないないために、間屋は直接消費者と、仲買は直接消費者を通じて商品を販売することがある。このことは、江戸時代の間屋と仲買の関係についてのみ述べてみたいと思ふ。

問屋と仲買の関係は、間屋と仲買の間に商品の供給関係が成立するが、それ以外の業界を通じて商品が消費者の手に渡ることは、間屋の利潤を損なうものである。間屋は直接消費者と、仲買は直接消費者を通じて商品を販売することがある。このことは、江戸時代の間屋と仲買の関係についてのみ述べてみたいと思ふ。

問屋と仲買

『社會經濟史資料紹介』

野村勘太郎
サイダァが相当多い。これを仲買仲間に通達し、処理する。
表記に従って歩む事で、所定の目標に到達することができる。

そこで、前回の仕事についても、しっかりとした計画を作ることを検討した。
この話が言う様で、この記録がもうのものではない。ただ上の記録依ってこの一つの重要な点を認め得る。

この文書が言う様で、この論点がもうのものではない。ただ上の記録依ってこの一つの重要な点を認め得る。
たといふのでは篦

破談とは何か。社交的なことは止める、商取引は勝手。